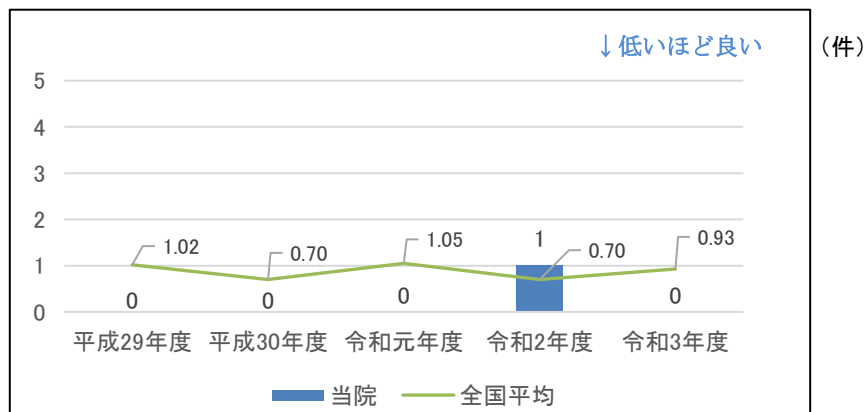


24 多剤耐性緑膿菌(MDRP)による院内感染症発生患者数

○項目の解説

免疫力の低下した患者が多剤耐性緑膿菌(MDRP)に感染すると、難治性の感染症を引き起こし死に至る場合があります。病院内の手洗いを励行するなど、適切な院内感染予防対策の実施により、発症頻度を低減することが可能です。当該指標は、院内感染予防対策の実施とその効果を示す指標です。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

令和3年度の発生は認められず適切な院内感染予防対策が行われていると考えています。
引き続き抗菌薬適正使用について検討を行い、ICTラウンドを強化していく方針で取り組みます。
今後、多剤耐性緑膿菌(MDRP)が検出された場合は迅速に周知徹底し、感染対策を強化します。

○定義

当該年度1年間の新規MDRP発生患者数です。
保菌者による持ち込み感染は除き、入院3日目以降に発生したものを計上します。

○算式

実数